

ラヴェル
ラ・ヴァルス
—管弦楽のための舞踊詩

Ravel: La valse - Poème chorégraphique pour orchestre

モーツァルト
管楽器のための
協奏交響曲 変ホ長調

Mozart: Sinfonia concertante, Es-Dur, K. 297b

ラフマニノフ
交響的舞曲 作品45

Rachmaninoff: Symphonic dances, op. 45

俊友会管弦楽団

株式会社ニナファームジャパン 特別協賛

指揮
佐々木 新平

ソリスト
オーボエ 荒川 文吉
クラリネット 横川 晴児
ファゴット チェ・ヨンジン
ホルン 日高 剛

管弦楽
俊友会管弦楽団

The 67th Subscription Performance of
Shunyukai Symphony Orchestra

2025. 5.11 日

開場13:00/開演14:00

文京シビックホール
大ホール

東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター 1F

東京メトロ丸ノ内線・南北線後楽園駅(5出入口)直結
都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅(文京シビックセンター連絡口)直結
JR中央線・総武線水道橋駅(東口)徒歩約10分

全席指定 S席3,000円/A席1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

第67回定期演奏会

Conductor:
Shimpei Sasaki
©S. Arita

Oboe:
Bunkichi Arakawa

Clarinet:
Seiji Yokokawa

Fagott:
Young-Jin Choe

Horn:
Takeshi Hidaka



指揮 佐々木 新平

Shimpei Sasaki,
conductor

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J. パヌラら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年プザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出された。これまで国内主要楽団に

客演。2015-19年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。2021-24年ヤマハ吹奏楽団常任指揮者。あきた芸術劇場ミルハスにおいては2022年のオープン以来音楽部門アドバイザーを務める。現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。さらに多彩なイベントやレコーディングの指揮、ワークショップの開催、テレビ、ラジオ、映画への出演に至るまで多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに還かなる高みに向かう若き指揮者。



オーボエ 荒川 文吉

Bunkichi Arakawa, oboe

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。第82回日本音楽コンクール第2位、第31回日本管打楽器コンクール第1位、The Muri Competition 2019(スイス)第1位等受賞多数。2017年秋より、アフィニス文化財団海外研修員としてベルリンへ留学。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の「カラヤンアカデミー」に在籍。ジョナサン・ケリー氏に師事。2014年より、東京フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者。



クラリネット 横川 晴児

Seiji Yokokawa, clarinet

ジャック・ランズロ、ユリス・ドゥレクリューズ他各氏に師事。パリ国立高等音楽院をプルミエ・プリを得て卒業。東京フィルハーモニー交響楽団を経て、1986年より2010年までNHK交響楽団首席奏者。ソリストまた室内楽奏者としても内外で活躍。元国立音楽大学客員教授、軽井沢国際音楽祭音楽監督、習志野シンフォニエッタ千葉芸術監督、トート音楽院学院長、ビュッフェ・クランボン・ジャパン社専属テスター。



ファゴット チェ・ヨンジン

Young-jim Choe, fagott

韓国釜山出身。韓国芸術総合学校卒業後渡独。ダーク・イエンセン氏に師事。ハノーファー音楽大学ソリストクラス最高演奏者課程卒業。韓国史上初、東亜新聞コンクールにて3回連続最高位入賞し、兵役免除。ドイツ・バイロイト国際コンクールをはじめ、国内外有数のコンクールにて優勝。ノルウェー・トロントハイム・シンフォニー・オーケストラ首席奏者を経て、2005年より東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者。



ホルン 日高 剛

Takeshi Hidaka, horn

宮崎県出身。長崎大学経済学部を卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。2000年広島交響楽団に入団、その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を2013年まで歴任した。現在、東京藝術大学准教授。国立音楽大学・昭和音楽大学・相愛大学各講師、名古屋音楽大学客員教授、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、新日本フィルハーモニー交響楽団客演首席ホルン奏者を務める。

管弦楽 俊友会管弦楽団

Shunyukai Symphony Orchestra

俊友会管弦楽団は1983年に結成され、2012年1月のバレエ公演まで一貫して故・堤俊作の「音楽にはプロもアマもない」の精神の下で、研鑽を積んできた。結成以来、66回の定期演奏会に加え、13回の特別演奏会やウィーン楽友協会大ホールでの記念公演などの活動を展開している。今上陛下が皇太子時代に名誉団員として、当団の定期演奏会に6回出演されている。マーラー《千人の交響曲》、シェーンベルク《グレの歌》、メシアン《トゥランガリラ交響曲》等、普段アマチュアオーケストラで演奏する機会の少ない大曲に挑戦していることに加え、シューマンの歌劇《ゲノヴェーヴァ》全曲を演奏会形式で日本初演している。2007年からは日本バレエ協会関東支部神奈川ブロックの自主公演に参加し、チャイコフスキーの三大バレエ《眠りの森の美女》《白鳥の湖》《くるみ割り人形》をはじめ、プロコフィエフの《シンデレラ》全幕の演奏を担当し、演出・振付の諸先生方からの信頼を得ている。2017年11月特別演奏会・札幌公演を実現。2019年5月俊友会管弦楽団特別公演 牧阿佐美バレエ団『ロメオとジュリエット』全幕公演、2021年10月九州久留米・特別演奏会、2023年11月指揮者・堤俊作の足跡を偲ぶコンサート等を企画・実施している。公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体。

Ninapharm
JAPON



株式会社ニナファームジャパン特別協賛

俊友会管弦楽団 第67回定期演奏会

2025.5.11(日) 開場13:00
開演14:00

文京シビックホール
大ホール(1F)

東京都文京区春日1-16-21
文京シビックセンター 1F



東京メトロ丸の内線・南北線後楽園駅(5出入口)直結
都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅
(文京シビックセンター連絡口)直結
JR中央線・総武線水道橋駅(東口)徒歩約10分

俊友会管弦楽団 次回の演奏会

株式会社ニナファームジャパン特別協賛

俊友会管弦楽団 東京・京都特別演奏会

2025.9.20(土)
めぐろパーシモンホール
大ホール

2025.9.28(日)
京都コンサートホール
大ホール

詳細近日公開

最新情報はこちらから
<https://shunyukai.jp/>

